

# 《 遠 隔 地 扶 養 理 由 書 》



※ 3, 4については、学生・施設入居者・単身赴任による別居の場合は記入不要です。  
但し、夜間・定時制・通信制の学生は、記入してください。

## 1. 認定対象者

氏名	共済 桜子		続柄	長女	同居者	①. なし 2. あり(続柄)
住所	〒 ΔΔΔ-ΔΔΔΔ 〇〇県××市〇〇区××-ΔΔ					
職業の有無	有	* 職種 * 勤務の形態(パートか否か、稼動日数等)				
		在学中	* 学校名 * 学年 年制 年生			
	無	* 退職事業所名 * 退職年月日 令和 年 月 日退職 * 退職事由 ・定年 ・その他				
		退職者	* 雇用保険の有無 ・有 令和 年 月 日まで 日額 円 ・無 理由 ( ) ・手続き中 令和 年 月頃受給予定			
			* 扶養するに至った理由(具体的に記入) <b>長女の桜子は令和××年3月に大学を卒業後、就職活動は行っているが、定職に就かず、現在、資格を取得することを目指して勉強中です。別紙のとおり、毎月13万円の仕送りをして私が扶養しております。</b>			

## 2. 収入の内訳

※ 認定対象者の配偶者の有無に ( 有 ・ 無 )  
○をつけてください。

	認定対象者の収入		認定対象者の配偶者の収入	
給与等収入	年額	円	年額	円
営業等収入	年額	円	年額	円
農業等収入	年額	円	年額	円
不動産収入	年額	円	年額	円
公的年金等	年額	円	年額	円
遺族年金	年額	円	年額	円
障害年金	年額	円	年額	円
恩給	年額	円	年額	円
雇用保険	日額( 円)×日数( )	日額( 円)×日数( )		
	=年額	円	=年額	円
その他	年額	円	年額	円
	年額	円	年額	円
合計	c	0 円	e	円
仕送り(年額)	家賃分	96万 円	家賃分	円
	生活費分	60万 円	生活費分	円
	d 合計	156万 円	f 合計	円

※年取とは、給与、各種年金(国民年金・厚生年金・共済年金・障害年金・遺族年金・恩給・その他の年金)、雇用保険、事業・営業所得等を含みません。

## 3. 組合員及び被扶養者の収入について

	氏名	続柄	年収
組合員	共済 太郎	本人	7,000,000 円
組合員と同居する被扶養者	共済 花子	妻	0 円
	共済 梅子	次女	0 円
			円
			円
			円
合計	a	3 人	b 7,000,000 円

## 4. 一人当たりの年額の計算

### ◆認定対象者に配偶者がいる場合

$$(式) \frac{(組合員世帯の合計年収) - (仕送り年額)}{(組合員世帯人数)} > \frac{(認定対象者とその配偶者の合計年収) + (仕送り年額)}{2}$$

$$\frac{b}{a} - \frac{d+f}{a} > \frac{c+e}{2} + \frac{d+f}{2}$$

一人当たりの年額

$$\text{円} > \text{円}$$

### ◆認定対象者に配偶者がいない場合

$$(式) \frac{(組合員世帯の合計年収) - (仕送り年額)}{(組合員世帯人数)} > (認定対象者の年収) + (仕送り年額)$$

$$\frac{b}{a} - \frac{d}{a} > c + d$$

一人当たりの年額

$$1,813,333 \text{ 円} > 1,560,000 \text{ 円}$$

◎認定対象者の年収の1/2以上 かつ月5万円以上の  
の 130,000 円を毎月通帳への振込みにより  
仕送りしております。

私が遠隔地で扶養していることの実態は、  
上記のとおりであることを申し立てます。

令和 ×× 年 4 月 1 日

組合員氏名 共済 太郎

※遠隔地認定を受けようとする者の一人当たりの年額が、  
組合員世帯の一人当たりの年額より下回る場合のみ認定対象となります。